

## 第三回 インターネットによる資料検索

担当者：張 俊超(チョウ シュンチョウ)

### Part I

#### 1 復習

##### 1.1 日本語入力のファンクションキーの使い方

- ・F6 ひらがな
- ・F7 カタカナ
- ・F8 半角カタカナ
- ・F9 全角数字
- ・F10 半角数字

##### 1.2 タイピング練習.JPGにおいての内容をWordに入力して練習しましょう

<https://ztempest0218.github.io/lecture/computer/typing.jpg>

作成したWordファイルを「typing.docx」名前つけて保存し、件名に「学籍番号+お名前+タイピング練習」入力し、以下のメールアドレスに送ってください。

ztempest0218@gmail.com

### Part II

#### 2 基本操作：マウスのスクロールの使い方

- ・ページを閲覧の時、スクロールバーの代わりに
- ・Ctrlキーと併用すると、画面を拡大したり縮小したりできる
- ・ブラウザでページを閲覧時、「新ページで開く」の機能

#### 3 インターネットによる資料検索

##### 3.1 リテラシーの解釈

コンピュータ・リテラシーは、コンピュータを操作して、目的とする作業を行い、必要な情報を得ることが出来る知識と能力を持っていること。この授業では、特にインターネットなど通じて情報の収集や処理などのことを指すこと。

## 3.2 情報の収集と選別

### 3.2.1 図書館の利用

図書館の蔵書を探す際は、OPAC（Online Public Access Catalog）という検索システムを利用するのがお勧めです。例えば

- ・横浜国立大学図書館の蔵書検索 <http://opac.lib.ynu.ac.jp/opc/>
- ・国会図書館の蔵書検索 <http://opac.ndl.go.jp/>
- ・他大学図書館での検索 googleで「OPAC」と「大学名」で検索してみる

図書館では、電子情報サービスやデータベース利用の各種サービスを利用することができる。例えば、論文の全文または一部をファイルで入手する、論文誌の中に掲載されている論文を検索する、新聞の記事検索を調べることなどができる。

情報基盤センターのWebページのサービスを使って、大学外からも利用することができる。詳しくは、以下のWebページを参照。

- ・情報基盤センター <http://www.itsc.ynu.ac.jp/>

### 3.2.2 アジア経済社会研究センターの紹介

経済学部付属の研究センターとして、アジアの経済社会問題を中心とする研究を行い、本学の研究と教育の向上に寄与するとともにその成果を国内外に発信することを目的として、2012年4月に設立された。当センターの資料室部門は、その前身である貿易文献資料センター（1978年4月発足）の機能を引き継ぎ、アジアを中心とする世界の経済社会分野に関する資料（図書・雑誌・マイクロ資料・電子資料）、日本国内および国際機関・各国政府刊行の統計・年報・白書・報告書・学術雑誌・大学紀要等を所蔵しています。

- ・アジア経済社会研究センター <http://www.econ.ynu.ac.jp/cessa/index.html>

### 3.2.3 インターネットを使ったデータや資料の入手

各行政機関から報道資料などを入手することや統計局から統計データを入手すること。

- ・電子政府の総合窓口 <http://www.e-gov.go.jp/>
- ・総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/>

他、検索サイト等からデータを探す（利用する際は注意すること）

- ・ Google 日本 <http://www.google.co.jp/>
- ・ Google Scholar <http://scholar.google.com/>
- ・ CiNii <http://ci.nii.ac.jp/>

※注意：検索サイトを利用する際、下記のことしないようにを心に刻んでおきましょう：

- × 検証性や裏付けがない、または不明確なソースを使う
- × 検索結果などをコピーし、そのまま論文に用いる
- × インターネットに載っている情報をつまみ食いして、自分の文章のように仕立てる

## Part III

### 4 実習

#### 4.1 Chromeのインストールかつ利用する

#### 4.2 上記紹介したサイトをブックマークに登録かつ検索しましょう

#### 4.3 以下の論文を検索し、pdfファイルをダウンロードしてみて

Joshua D. Angrist (1991). Grouped-data estimation and testing in simple labor-supply models. *Journal of Econometrics*, 47(2), Pages 243-266,

Heckman, J. (2001). Accounting for Heterogeneity, Diversity and General Equilibrium in Evaluating Social Programmes. *The Economic Journal*, 111(475), F654-F699